

全段連 第三次環境自主行動計画（温暖化対策）

2019年度実績フォローアップ調査結果

2020年7月22日

全国段ボール工業組合連合会

全国段ボール工業組合連合会は、環境自主行動計画に対する進捗状況を把握するため、本年5月に自主行動計画参加企業に対して2019年度実績の調査を実施しましたので、その結果を報告致します。

<計画>

- ・目標：2006年度～2008年度の3年間平均に対し、2017年度～2020年度の4年間平均でCO₂総排出量を14.6%、CO₂原単位で21.3%削減する。
- ・自主行動計画参加企業数：58社
- ・全国段ボール生産量に対するカバー率：70.4%（2016年度）

<実績>

() 内は基準年度比

項目		基準年度	参考実績	計画	実績			
		2006～2008年度平均	2016年度	2017～2020年度平均	2017年度	2018年度	2019年度	2017～2019年度平均
貼合生産量	百万㎡/年	9,377	9,891 (105.5%)	10,169 (108.4%)	10,154 (108.3%)	10,346 (110.3%)	10,315 (110.0%)	10,272 (109.5%)
CO ₂ 総排出量	t-CO ₂ /年	594,998	507,929 (85.4%)	507,929 (85.4%)	512,382 (86.1%)	509,130 (85.6%)	493,843 (83.0%)	505,118 (84.9%)
CO ₂ 削減量※1	t-CO ₂ /年	—	87,069	87,069	82,616	85,868	101,155	89,880
CO ₂ 削減率	%	—	14.6	14.6	13.9	14.4	17.0	15.1
CO ₂ 原単位※2	kg-CO ₂ /千㎡	63.45	51.35 (80.9%)	49.95 (78.7%)	50.46 (79.5%)	49.21 (77.6%)	47.88 (75.5%)	49.18 (77.5%)
原単位削減率	%	—	19.1	21.3	20.5	22.4	24.5	22.5

※1：基準年度に対する計画年度毎の削減量。 ※2：CO₂総排出量を貼合生産量で割った値。

【注】基準年度以外のCO₂排出量算定における電力のC排出係数は2010年度の数値を用いた。

CO₂排出量算定における2019年度C排出係数の一部見直し、および参加企業の数・一部過去数値の訂正があったことから、計画、2016年度、2017年度、2018年度実績の数値を修正している。

<2019年度実績の調査結果について>

2019年度の参加58社の貼合生産量は、前年度より31百万㎡(0.3%)減少、CO₂総排出量は15,287t(3.0%)減少した。CO₂排出原単位では前年度より1.33kg-CO₂/千㎡(2.7%)減少し、改善されたことによりCO₂総排出量は15,287t(3.0%)減少した。LED化など照明設備の効率化、ボイラーの効率化、コルゲータなど機械設備の更新等の省エネ設備の導入、生産効率の向上等がその要因である。

第三次計画は、生産量増加によるCO₂総排出量増加を原単位改善の上積みによってカバーし、2016年度をベースにCO₂総排出量を増やさないという目標としている。2017～2019年度平均のCO₂排出原単位削減率は22.5%と改善が進み、CO₂総排出量の削減率は計画14.6%を上回る15.1%となった。

以上